

第5回 研修委員会

日 時：令和8年1月17日（土）16:15～17:00

会 場：ミリカローデン那珂川 楽屋1

出席者：中島、佐藤、毛利、西木戸、松莊、今永、村岡 計7名

【報告事項】

(1) 第4回理事会報告

学ビバでの同時文字起こしとリアルタイム質問を導入。

役員研修会の分科会のテーマについて提案・審議。

第5分科会を追加して、研修委員会が担当する。

【協議事項】

(1) 学ビバ!!FUKUOKA2025 福岡県大会の総括

① 会場

参加しやすいように公共交通機関でのアクセスがよい場所がよいのではないか。

会場は小さくてもいいのではないか。大きすぎると参加者がさらに少ない印象となる。

② 参加者

なぜ参加者が少なかったのか検証を行う必要がある。

学ビバは、今年度は県P研修委員会が運営を担当はしたが、基本的には三P協議会が主催なので、参加者のテコ入れなどは三P協議会が率先して対応してもらいたい。

③ 事前打合せ

施設との事前打合せの時期が遅すぎたのではないか。（遅くとも1か月前には行った方がよいのではないかと感じた。その後は電話やメールで施設とのやりとりができる。）

④ 講師選定

担当する委員会でテーマに沿った講師を選定する。

⑤ 担当

今回の学ビバは昨年度安全調査委員会が担当しており、今年度は研修委員会が担当した。これら二つの委員会を越年して担当する人がいなかつた事で、講師選定の想いや会場選択の理由などが十分に伝わらないままに、今年度運営を進める事になった。

次回学ビバを県Pが担当する場合は、越年して担当できる人が必要になると考えました。

⑥ 同時文字起こしとリアルタイム質問

急遽、三木副会長のスキルに頼る形で導入する事になりました。小スクリーンとプロジェクターを追加で借り受けての対応でしたが、文字起こしの評判も良く、質問に関してもマイクで発表しなくて良いといった評価を頂きました。

⑦ その他

ここ数年参加者が少ないということはニーズがないのか、この方法が時代に合っていないのか等開催する意味、必要性について検証を行い、費用対効果の観点から学ビバの実施方法について見直す必要があるのではないか。

※予算 80万円

参加者 7年度（福岡県大会）約100名、6年度（福岡市大会）162名、5年度（北九州市大会）約100名、4年度（福岡県大会）221名

(2) 令和8年度役員研修会の内容について

① 全体会講師について

講演：「先生方の思いとわたしたちにできること」

講師：長野県PTA連合会 会長 城村義人 氏

鬼頭会長からのご推薦もあり、城村会長にしたいと思います。

② 研修委員会の分科会参画について

講演：「P T Aの可能性」

講師：三潴郡大木町立大溝小学校 P T A会長 古賀國弘氏

P T Aでこんな事ができるという可能性について古賀会長にお話しして頂く。

③ 各分科会について

分科会	テーマ	内容
第1分科会	防災について	○近隣自治体の防災担当職員及び教育委員会担当職員を招いて ○グループディスカッション
第2分科会	プロを囲んで聞いてみよう ～プロの視点で学ぶ、伝わる広報のつくり方～	○西日本新聞社 益田孝氏による講演 ○グループディスカッション
第3分科会	魅力的なP T Aを目指して	○福岡県P T A連合会元会長西村澄子氏による講演 ○グループディスカッション
第4分科会	SNSトラブル対応	○株式会社伝えるを考える 置鮎正則氏による講演
第5分科会	P T Aの可能性	○三潴郡大木町立大溝小学校 P T A会長古賀國弘氏による講演 ○質疑応答

④ その他

第5分科会は話自体が30分ほどで終わりそうなので、グループディスカッションを組み入れたらどうか。

県P役員の皆さんに全体会の運営を依頼する方向で考える。

分科会会場は、参加人数に合わせて部屋のサイズを決める。分科会はなるべく参加者の第一希望になるように配慮する。変更の場合は受付時に伝える。

予算は、全体会は15万円（講師代5万円+旅費10万円）、各分科会は5万円（講師代3万円+旅費2万円）で合計40万円とする。

会場費は委員長が会場と確認する。

【次回について】

日 時：令和8年2月中旬～下旬

会 場：未定

内 容：役員研修会